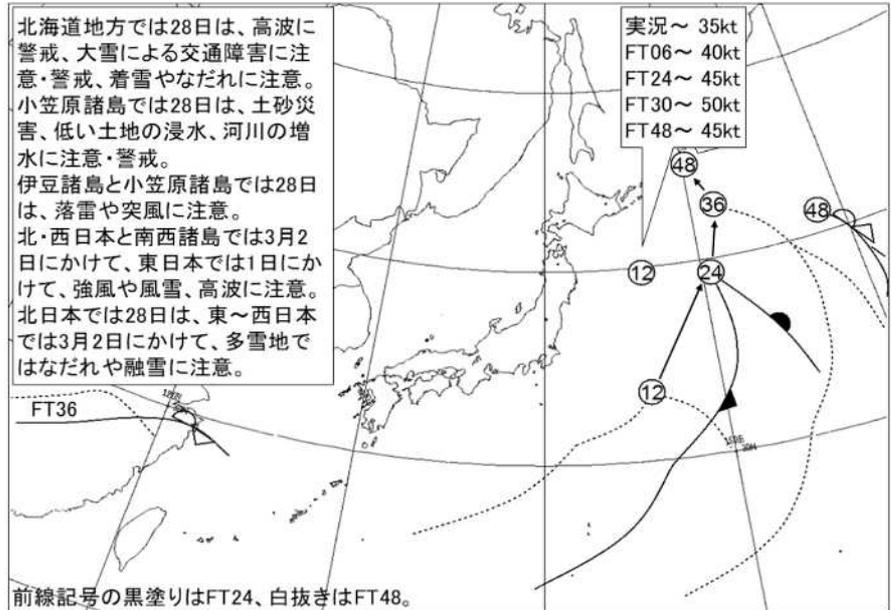


### 1. 実況上の着目点

- ① 日本の東に低気圧があって、北北東進。北海道地方では湿った東よりの風で雪となっている所があり、3時間に1~3cmの降雪を観測。
- ② 南西諸島から日本の東にかけて前線がのび、前線上の四国の南に低気圧があって、東進。
- ③ ①・②の前線や低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなっており、全国的にやや強い風や強い風が吹き、波が高くしけている所がある。



主要じょう乱解説図

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、28日は発達しながら北上するが、28日夜までに不明瞭になる。低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、雪を伴った強い風が吹き、波が高く大しけとなる所がある。北海道地方では28日は、高波に警戒し、強風や風雪に注意。また、湿った東よりの風の影響で大雪となる所がある。北海道地方では28日は、大雪による交通障害に注意・警戒し、着雪やなだれに注意。
- ② 1項②の低気圧は、500hPaトラフが先行し28日朝までに不明瞭化するが、28日朝までに別の低気圧が日本の東で発生し、前線が日本の南へのびる。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。小笠原諸島では28日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。伊豆諸島と小笠原諸島では28日、落雷や突風に注意。
- ③ 2項②の低気圧は、500hPaトラフに対応し発達しながら北上、3月1日夜は千島近海付近、その後オホーツク海へ進む。前線や低気圧と大陸の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、雪を伴った強い風や局地的には非常に強い風が吹き、波が高くしける所がある。北日本では3月2日にかけて、東~西日本と南西諸島では3月1日にかけて、強風や風雪、高波に注意。
- ④ 3月2日は、前線を伴う低気圧が東シナ海を東進、2日夜は九州の西へ進む。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。西日本と南西諸島では2日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、強風や高波、落雷や突風に注意。
- ⑤ 850hPaの気温は、北日本では3月1日以降寒気が流れ込み平年程度まで下降するが、東~西日本では3月2日にかけて、平年より5~10℃高い状態が続き、雪解けが進む。北日本では28日は、東~西日本では2日にかけて、多雪地ではなだれや融雪に注意。

### 3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 降雪量(06時からの24時間)：北海道20cm。

③ 波浪(明日まで)：北海道6、東北4、関東・伊豆諸島・近畿・四国・九州南部・奄美・沖縄3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。